

教育課程等の概要																
(データサイエンス学部データサイエンス学科)																
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門科目群	専門基礎科目	社会 価値創造への招待	1前	2			○			4					オムニバス・共同(一部)	
		社会 ソリューション基礎科 経済学概論	1後		2		○			1						
		社会 ソリューション基礎科 経営学概論	1後		2		○			1						
		社会 ソリューション基礎科 社会学概論	1後		2		○			1						
		社会 ソリューション基礎科 計量経済学	2前		2		○			1						
		社会 ソリューション基礎科 リスクマネジメント	2前		2		○			1						
		社会 ソリューション基礎科 社会保障論	2前		2		○			1						
		社会 ソリューション基礎科 家族と社会	2前		2		○			1						
		社会 ソリューション基礎科 社会データ分析	2前		2			○			1	1				兼1
	数理・統計系基礎科目	数学への招待	1前	2			○			3					兼1	
		確率・統計への招待	1前	2			○			2						
		統計学入門	1後		2		○			3						
		解析学Ⅰ	1後		2		○			1						
		解析学Ⅰ演習	1後		2			○		2						兼1
		線形代数学	1後		2		○			1						
		線形代数学演習	1後		2			○		1		1				兼1
		多変量解析Ⅰ	2前		2		○			1						
		解析学Ⅱ	2前		2		○			1						
	代数学	2前		2		○			1							
	幾何学	2前		2		○								兼1		
	情報系基礎科目	プログラミングへの招待	1前	2			○				2	1			オムニバス オムニバス 兼1	
		プログラミングⅠ	1後		2		○				2	1				
		データ処理演習	2前		2			○		1		1				
		プログラミングⅡ	2前		2		○			1						
		プログラミングⅡ演習	2前		2			○			2	1				
		データ構造とアルゴリズム	2前		2		○			2						オムニバス・共同(一部)
	専門発展科目	社会 ソリューション発展科目 応用計量経済学	2後		2		○			1					兼1 オムニバス・共同(一部) 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1	
社会 ソリューション発展科目 医療経済学		2後		2		○			1							
社会 ソリューション発展科目 人と組織のマネジメント		2後		2		○			1							
社会 ソリューション発展科目 データから見る家族		2後		2		○			1							
社会 ソリューション発展科目 疫学統計と生活		2後		2		○			1							
社会 ソリューション発展科目 データサイエンス実践概論		2後		2		○			1							
社会 ソリューション発展科目 データサイエンス社会実装論		2後		2		○										
社会 ソリューション発展科目 教育・労働経済学		3前		2		○			1							
社会 ソリューション発展科目 公的統計		3前		2		○			1							
社会 ソリューション発展科目 計量経済分析		3前		2		○										
社会 ソリューション発展科目 イノベーション論		3前		2		○			3							
社会 ソリューション発展科目 戦略的人的資源管理論		3前		2		○			1							
社会 ソリューション発展科目 マーケティング		3前		2		○										
社会 ソリューション発展科目 現代ビジネスと金融		3前		2		○										
社会 ソリューション発展科目 社会調査法		3前		2		○										
社会 ソリューション発展科目 行動経済学		3後		2		○										
社会 ソリューション発展科目 データサイエンティストのキャリア論		3後		2		○			1							
社会 ソリューション発展科目 マーケティングデータ分析		3後		2		○					1					
社会 ソリューション発展科目 公共経営		3後		2		○										
社会 ソリューション発展科目 コーポレート・ファイナンス		3後		2		○										
社会 ソリューション発展科目 調査設計論	3後		2		○											
数理・統計系発展科目	数理・統計系発展科目 生存時間解析	2後		2		○			1					兼1		
	数理・統計系発展科目 回帰分析	2後		2		○			1							
	数理・統計系発展科目 多変量解析Ⅱ	2後		2		○			1							
	数理・統計系発展科目 実験計画法	2後		2		○			1							
	数理・統計系発展科目 文化計量学	2後		2		○										
	数理・統計系発展科目 時系列解析	3前		2		○			1							
	数理・統計系発展科目 計算機統計学	3前		2		○			1							
	数理・統計系発展科目 最適化理論	3前		2		○			1							
	数理・統計系発展科目 医療統計	3前		2		○			1							
	数理・統計系発展科目 空間統計学	3後		2		○			1							
	数理・統計系発展科目 心理分析	3後		2		○			1							
数理・統計系発展科目 行列モデリング	3後		2		○				1							

教育課程等の概要																
(データサイエンス学部データサイエンス学科)																
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
情報系発展科目	AI・機械学習Ⅰ	2後		2		○				1					オムニバス 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1	
	AI・機械学習Ⅰ演習	2後		2			○			1	2					
	シミュレーション	2後		2		○				1						
	AI・機械学習Ⅱ	3前		2		○			1							
	AI・機械学習Ⅱ演習	3前		2			○		1	1	1					
	マルチメディア処理	3前		2		○						1				
	データベース	3前		2		○							1			
	情報ネットワーク	3前		2		○										
	バイオインフォマティクス	3前		2		○				1						
	数値解析	3後		2		○				1						
	画像処理	3後		2		○				1						
	シミュレーションと宇宙	3後		2		○				1						
	自然言語処理	3後		2		○				1	1					
	ソフトウェア設計	3後		2		○										
	Webプログラミング	3後		2		○										
情報倫理・情報社会	3後		2		○											
教職関連科目	数学科教育法1	2前		2		○									兼1	
	数学科教育法2	2後		2		○									兼1	
	数学科教育法3	3前		2		○									兼1	
	数学科教育法4	3後		2		○									兼1	
	情報科教育法1	2前		2		○									兼1	
	情報科教育法2	2後		2		○									兼1	
演習科目	入門演習Ⅰ	1前	2				○		4	2	2					
	入門演習Ⅱ	1後	2				○		4	2	2					
	データサイエンス基礎演習Ⅰ	2前	2				○		7	1						
	データサイエンス基礎演習Ⅱ	2後	2				○		7	1						
	データサイエンス実践演習Ⅰ	3前	2				○		11	3	2					
	データサイエンス実践演習Ⅱ	3後	2				○		11	3	2					
	データサイエンス上級実践演習Ⅰ	4前	2				○		11	3	2					
	データサイエンス上級実践演習Ⅱ	4後	2				○		11	3	2					
	卒業研究	4通	4				○		11	3	2					
小計(90科目)	—	28	154	0		—		11	3	2	0	0		兼19	—	
建学科目群	仏教学	仏教学ⅠA	1前	2			○									兼1
		仏教学ⅠB	1後	2			○									兼1
		仏教学ⅡA	3前	2			○									兼1
		仏教学ⅡB	3後	2			○									兼1
		小計(4科目)	—	8	0	0		—		0	0	0	0	0		兼2
共通科目群	言語コミュニケーション科目	英語ⅠA1	1前	1			○									兼2
		英語ⅠA2	1前	1			○									兼3
		英語ⅠB1	1後	1			○									兼2
		英語ⅠB2	1後	1			○									兼3
		英語ⅡA1	2前		1		○									兼1
		英語ⅡA2	2前		1		○									兼1
		英語ⅡA3	2前		1		○									兼1
		英語ⅡA4	2前		1		○									兼2
		英語ⅡA5	2前		1		○									兼1
		英語ⅡA6	2前		1		○									兼2
		英語ⅡA7	2前		1		○									兼2
		英語ⅡA8	2前		1		○									兼3
		英語ⅡB1	2後		1		○									兼1
		英語ⅡB2	2後		1		○									兼1
		英語ⅡB3	2後		1		○									兼1
		英語ⅡB4	2後		1		○									兼2
		英語ⅡB5	2後		1		○									兼1
		英語ⅡB6	2後		1		○									兼2
		英語ⅡB7	2後		1		○									兼2
		英語ⅡB8	2後		1		○									兼3
		英語ⅢA1	3前		1		○									兼1
		英語ⅢA2	3前		1		○									兼1
		英語ⅢB1	3後		1		○									兼1
		英語ⅢB2	3後		1		○									兼2
		ドイツ語ⅠA1	1前		1		○									兼1
		ドイツ語ⅠA2	1前		1		○									兼1

教育課程等の概要															
(データサイエンス学部データサイエンス学科)															
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
	ドイツ語 I B1	1後		1				○							兼1
	ドイツ語 I B2	1後		1				○							兼1
	ドイツ語 II A1	2前		1				○							兼2
	ドイツ語 II A2	2前		1				○							兼2
	ドイツ語 II A3	2前		1				○							兼2
	ドイツ語 II B1	2後		1				○							兼2
	ドイツ語 II B2	2後		1				○							兼2
	ドイツ語 II B3	2後		1				○							兼2
	ドイツ語 III A1	3前		1				○							兼1
	ドイツ語 III A2	3前		1				○							兼1
	ドイツ語 III B1	3後		1				○							兼1
	ドイツ語 III B2	3後		1				○							兼1
	ドイツ語 III A3	4前		1				○							兼1
	ドイツ語 III B3	4後		1				○							兼1
	フランス語 I A1	1前		1				○							兼2
	フランス語 I A2	1前		1				○							兼2
	フランス語 I B1	1後		1				○							兼2
	フランス語 I B2	1後		1				○							兼2
	フランス語 II A1	2前		1				○							兼3
	フランス語 II A2	2前		1				○							兼2
	フランス語 II A3	2前		1				○							兼2
	フランス語 II B1	2後		1				○							兼3
	フランス語 II B2	2後		1				○							兼2
	フランス語 II B3	2後		1				○							兼2
	フランス語 III A1	3前		1				○							兼1
	フランス語 III A2	3前		1				○							兼1
	フランス語 III B1	3後		1				○							兼1
	フランス語 III B2	3後		1				○							兼1
	フランス語 III A3	4前		1				○							兼1
	フランス語 III B3	4後		1				○							兼1
	中国語 I A1	1前		1				○							兼1
	中国語 I A2	1前		1				○							兼1
	中国語 I B1	1後		1				○							兼1
	中国語 I B2	1後		1				○							兼1
	中国語 II A1	2前		1				○							兼4
	中国語 II A2	2前		1				○							兼3
	中国語 II A3	2前		1				○							兼2
	中国語 II B1	2後		1				○							兼4
	中国語 II B2	2後		1				○							兼2
	中国語 II B3	2後		1				○							兼2
	中国語 III A1	3前		1				○							兼1
	中国語 III A2	3前		1				○							兼1
	中国語 III B1	3後		1				○							兼1
	中国語 III B2	3後		1				○							兼1
	中国語 III A3	4前		1				○							兼1
	中国語 III B3	4後		1				○							兼1
	韓国語 I A1	1前		1				○							兼2
	韓国語 I A2	1前		1				○							兼2
	韓国語 I B1	1後		1				○							兼2
	韓国語 I B2	1後		1				○							兼2
	韓国語 II A1	2前		1				○							兼3
	韓国語 II A2	2前		1				○							兼2
	韓国語 II A3	2前		1				○							兼2
	韓国語 II B1	2後		1				○							兼2
	韓国語 II B2	2後		1				○							兼2
	韓国語 II B3	2後		1				○							兼2
	韓国語 III A1	3前		1				○							兼1
	韓国語 III A2	3前		1				○							兼1
	韓国語 III B1	3後		1				○							兼1
	韓国語 III B2	3後		1				○							兼1
	韓国語 III A3	4前		1				○							兼1
	韓国語 III B3	4後		1				○							兼1
	日本語 I A1	1前		1				○							兼1
	日本語 I A2	1前		1				○							兼1
	日本語 I B1	1後		1				○							兼1
	日本語 I B2	1後		1				○							兼1
	小計 (92科目)	—	4	88	0			—		0	0	0	0	0	兼47

教育課程等の概要														
(データサイエンス学部データサイエンス学科)														
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
情報基盤科目	情報リテラシー	1前	2				○							兼1
	データ・AIリテラシー	1前	2				○							兼1
	情報基礎A	1後		2			○							兼1
	情報基礎B	1後		2			○							兼1
	情報基礎C	2前		2			○							兼1
	情報基礎D	2前		2			○							兼1
	データ・AI基礎A	2前		2			○							兼1
	データ・AI基礎B	2後		2			○							兼1
	データ・AI基礎C	2前		2			○							兼1
	データ・AI基礎D	2後		2			○							兼1
小計(10科目)		—	4	16	0		—		1	0	0	0	0	兼7
健康科学	運動と健康科学	1前	2			○								兼1
	スポーツ実践	1前		1				○						兼4
	小計(2科目)		—	2	1	0		—		0	0	0	0	0
ジェンダー科目	ジェンダー研究入門	1前		2		○								兼1
	ジェンダー研究発展	1後		2		○			1					
	歴史と女性	1後		2		○								兼2 オムニバス・共同(一部)
	キャリア形成I	1後		2		○								兼1
	キャリア形成II	2前		2		○								兼1
	キャリア形成III	2後		2		○								兼1
	ジェンダーと研究	2後		2		○								兼1
	職業体験実習	3通		2				○						兼1
小計(8科目)		—	0	16	0		—		1	0	0	0	0	兼7
連携活動科目	連携活動入門	1後		2		○								兼1
	地域連携講座A1	1後		2		○								兼1
	地域連携講座A2	1後		2		○								兼1
	地域連携講座A3	1後		2		○								兼1
	地域連携講座B1	2前		2		○								兼1
	地域連携講座B2	2前		2		○								兼1
	地域連携講座B3	2前		2		○								兼1
	産学連携講座A1	1後		2		○								兼1
	産学連携講座A2	1後		2		○								兼1
	産学連携講座B1	2前		2		○								兼1
	産学連携講座B2	2前		2		○								兼1
	連携課題研究1	2前・後		2			○							兼1
	連携課題研究2	2前・後		2			○							兼1
小計(13科目)		—	0	26	0		—		0	0	0	0	0	兼8
国際理解科目	言語と文化A1	1後		2				○						兼5 オムニバス
	言語と文化A2	1後		2				○						兼1
	言語と文化B1	2前		2				○						兼4 オムニバス
	言語と文化B2	2前		2				○						兼4 オムニバス
	英語で京都を学ぶ	2後		2				○						兼1
	国際理解実習	2通		2				○						兼1
	語学・文化研修A1	1・2・3・4		2				○						兼1
	語学・文化研修A2	1・2・3・4		2				○						兼1
	語学・文化研修A3	1・2・3・4		4				○						兼1
	語学・文化研修A4	1・2・3・4		4				○						兼1
	語学・文化研修A5	1・2・3・4		4				○						兼1
	語学・文化研修B1	1・2・3・4		2				○						兼1
	語学・文化研修B2	1・2・3・4		2				○						兼1
	語学・文化研修B3	1・2・3・4		4				○						兼1
	語学・文化研修B4	1・2・3・4		4				○						兼1
	語学・文化研修B5	1・2・3・4		4				○						兼1
小計(16科目)		—	0	44	0		—		0	0	0	0	0	兼14
教養科目	教養科目A(文学と思想1)	1後		2		○								兼1
	教養科目A(文学と思想2)	1後		2		○								兼1
	教養科目A(芸術と表現1)	1後		2		○								兼1
	教養科目A(芸術と表現2)	1後		2		○								兼1
	教養科目A(市民と社会1)	1後		2		○								兼1
	教養科目A(市民と社会2)	1後		2		○								兼1
	教養科目A(福祉とくらし1)	1後		2		○								兼1
	教養科目A(福祉とくらし2)	1後		2		○				1				兼1
	教養科目A(心とからだ1)	1後		2		○								兼1
	教養科目A(心とからだ2)	1後		2		○								兼1
	教養科目A(環境と生命1)	1後		2		○								兼1
	教養科目A(環境と生命2)	1後		2		○								兼1
	教養科目A(数と情報1)	1後		2		○				1				兼1
	教養科目A(数と情報2)	1後		2		○								兼1
	教養科目B(文学と思想3)	2前		2		○								兼1
	教養科目B(文学と思想4)	2前		2		○								兼1

教育課程等の概要														
(データサイエンス学部データサイエンス学科)														
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
	教養科目B (芸術と表現3)	2前		2		○								兼1
	教養科目B (芸術と表現4)	2前		2		○								兼1
	教養科目B (市民と社会3)	2前		2		○								兼1
	教養科目B (市民と社会4)	2前		2		○								兼1
	教養科目B (福祉とくらし3)	2前		2		○								兼4 オムニバス
	教養科目B (福祉とくらし4)	2前		2		○								兼1
	教養科目B (心とからだ3)	2前		2		○								兼1
	教養科目B (心とからだ4)	2前		2		○								兼1
	教養科目B (環境と生命3)	2前		2		○			1					兼1
	教養科目B (環境と生命4)	2前		2		○								兼1
	教養科目B (数と情報3)	2前		2		○								兼1
	教養科目B (数と情報4)	2前		2		○								兼1
	京都の文学	1後		2		○								兼1
	京都と芸能	1後		2		○								兼1
	京都の歴史	2前		2		○								兼2 オムニバス
	京都の文化と産業	2後		2		○								兼1
	現代と仏教A	2前		2		○								兼1
	現代と仏教B	2後		2		○								兼1
	仏教文学A	2前		2		○								兼1
	仏教文学B	2後		2		○								兼1
	仏教文化A	2前		2		○								兼1
	仏教文化B	2後		2		○								兼1
	仏教思想A	2前		2		○								兼1
	仏教思想B	2後		2		○								兼1
	外国語で読む仏教A	2前		2		○								兼1
	外国語で読む仏教B	2後		2		○								兼1
地域と仏教演習	2後		2			○							兼2	
社会と仏教特論	2後		2		○								兼1	
小計 (44科目)		—	0	88	0	—			2	1	0	0	0	兼39
教職に関する専門教育科目	教職論	1前・後			2	○								兼1
	教育原論	1前・後			2	○								兼1
	教育心理学	1前・後			2	○								兼1
	教育行政学	3前・後			2	○								兼1
	教育課程論	2前・後			2	○								兼1
	特別支援教育論	2前・後			1	○								兼1
	道徳教育論	2前・後			2	○								兼1
	特別活動及び総合的な学習の時間指導法	3前・後			2	○								兼2
	教育方法論	2前・後			2	○								兼1
	生徒指導論	3前・後			2	○								兼1
	進路指導論	3前・後			2	○								兼1
	教育実習論	4通			1	○								兼1
	教育実習	4通			2									兼1
	中学校教育実習	4通			2									兼1
	教職実践演習 (中・高)	4後			2		○			1				兼2 オムニバス
	人権教育論	2前・後			1	○								兼1
日本国憲法	2前・後			2	○								兼1	
小計 (17科目)		—	0	0	31	—			0	1	0	0	0	兼14
図書館司書に関する科目	生涯学習概論	1前・後			2	○								兼1
	図書館概論	1前・後			2	○								兼1
	図書館制度・経営論	2前・後			2	○								兼1
	図書館情報技術論	2前・後			2	○								兼1
	図書館サービス概論	1前・後			2	○								兼1
	情報サービス論	1前・後			2	○								兼1
	児童サービス論	1前・後			2	○								兼1
	情報サービス演習	2前・後			2		○							兼1
	図書館情報資源概論	1前・後			2	○								兼1
	情報資源組織論	1前・後			2	○								兼1
	情報資源組織演習 I	2前・後			1		○							兼1
	情報資源組織演習 II	2前・後			1		○							兼2
	図書館基礎特論	2前・後			2	○								兼1
	図書館サービス特論	2前・後			2	○								兼1
	図書館情報資源特論	2前・後			2	○								兼1
	図書・図書館史	2前・後			2	○								兼1
	図書館施設論	2前・後			2	○								兼1
	図書館総合演習	3前・後			2		○							兼1
図書館実習	4前			2		○							兼1	
小計 (19科目)		—	0	0	36	—			0	0	0	0	0	兼10

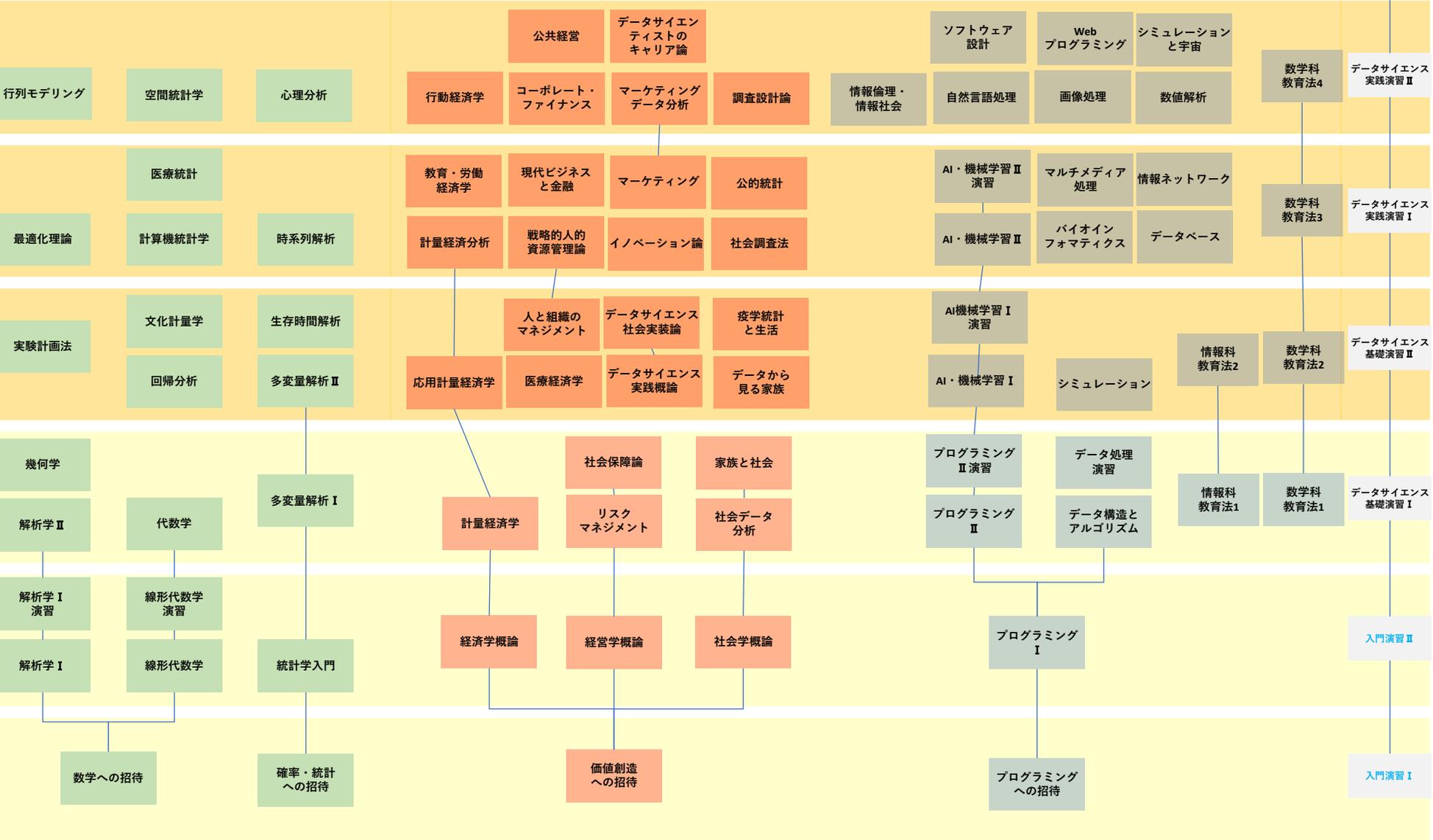
教育課程等の概要														
(データサイエンス学部データサイエンス学科)														
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
図書館司書及び学校図書館司書教諭に関する科目	学校経営と学校図書館	1前・後			2	○								兼1
	学校図書館メディアの構成	1前・後			2	○								兼1
	学習指導と学校図書館	1前・後			2	○								兼1
	読書と豊かな人間性	1前・後			2	○								兼1
	情報メディアの活用	1前・後			2	○								兼1
	学校図書館サービス論	2前・後			2	○								兼1
	小計(6科目)	—	0	0	12	—			0	0	0	0	0	兼4
日本語教師に関する科目	日本語教育入門	1前・後			2	○								兼1
	言語と社会	1前・後			2	○								兼1
	言語と心理	1前・後			2	○								兼1
	言語と教育	1前・後			2	○								兼1
	日本語の構造	1前・後			2	○								兼1
	日本語教育実習	3・4			2			○						兼3
小計(6科目)	—	0	0	12	—			0	0	0	0	0	兼6	
合計(327科目)		—	46	433	91	—			11	3	2	0	0	兼151
学位又は称号	学士(データサイエンス)		学位又は学科の分野			経済学関係、工学関係								
卒業要件及び履修方法						授業期間等								
建学科目群として「仏教学」8単位、共通科目群として「言語コミュニケーション科目」8単位(必修外国語4単位選択必修含む)、「情報基盤科目」4単位、「健康科学科目」2単位の計22単位を必修とし、「教養科目」、「ジェンダー科目」、「連携活動科目」、「国際理解科目」を選択科目に加えた共通科目群全体から8単位以上、合計30単位以上を履修する。専門科目群からは下記必修・選択必修含め72単位以上を履修し、他にすべての科目から30単位以上、総計132単位を修得することが卒業要件である。 (履修科目の登録上限:48単位(年間)) ・「価値創造への招待」、「数学への招待」、「確率・統計への招待」、「プログラミングへの招待」4科目8単位必修 ・専門基礎科目(招待科目を除く)から、 社会ソリューション基礎科目 3科目6単位以上修得すること 数理・統計系基礎科目 3科目6単位以上修得すること 情報系基礎科目 2科目4単位以上修得すること ・ 専門発展科目のいずれかの領域から、8科目16単位以上修得すること ・演習科目 8科目16単位必修に加えて、卒業研究4単位を修得すること						1学年の学期区分				2学期				
						1学期の授業期間				15週				
						1時限の授業時間				90分				

卒業研究

データサイエンス
上級実践演習Ⅱ
データサイエンス
上級実践演習Ⅰ

4年後期
4年前期
3年後期
3年前期
2年後期
2年前期
1年後期
1年前期

発
展
科
目
基
礎
科
目



履修モデル 社会・ビジネスデータサイエンティスト系

	1年次				2年次				3年次				4年次			
	1セメスター		2セメスター		3セメスター		4セメスター		5セメスター		6セメスター		7セメスター		8セメスター	
	科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位
仏教学	仏教学ⅠA	2	仏教学ⅠB	2					仏教学ⅡA	2	仏教学ⅡB	2				
共通科目群	言語コミュ科目	英語ⅠA1	1	英語ⅠB1	1											
		英語ⅠA2	1	英語ⅠB2	1											
		初修外国語ⅠA1	1	初修外国語ⅠB1	1											
		初修外国語ⅠA2	1	初修外国語ⅠB2	1											
	情報基盤科目	情報リテラシー	2													
データ・AIリテラシー		2														
健康科学科目	運動と健康科学	2														
教養、ジェンダー 連携活動 国際理解等					教養科目	2	連携活動	2	連携活動	2						
					教養科目	2										
専門科目群	社会ソリューション系	価値創造への招待	2	経済学概論	2	計量経済学	2	人と組織のマネジメント	2	社会調査法	2	公共経営	2			
				経営学概論	2	リスクマネジメント	2	医療経済学	2	戦略的人的資源管理論	2	行動経済学	2			
				社会学概論	2	社会データ分析	2	応用計量経済学	2	計量経済分析	2	データサイエンティストのキャリア論	2			
						家族と社会	2	データからみる家族	2	イノベーション論	2	マーケティングデータ分析	2			
						社会保障論	2	DS実践概論	2	教育・労働経済学	2	コーポレート・ファイナンス	2			
								DS社会実装論	2	公的統計	2	調査設計論	2			
										マーケティング	2					
										現代ビジネスと金融	2					
情報系	プログラミングへの招待	2	プログラミングⅠ	2	プログラミングⅡ	2	AI・機械学習Ⅰ	2								
					プログラミングⅡ演習	2	AI・機械学習Ⅰ演習	2								
数理・統計系	数学への招待	2	解析学Ⅰ	2	多変量解析Ⅰ	2										
	確率・統計への招待	2	線形代数学	2												
			線形代数学演習	2												
		統計学入門	2													
演習	入門演習Ⅰ	2	入門演習Ⅱ	2	DS基礎演習Ⅰ	2	DS基礎演習Ⅱ	2	DS実践演習Ⅰ	2	DS実践演習Ⅱ	2	DS上級実践演習Ⅰ	2	DS上級実践演習Ⅱ	2
												卒業研究	2	卒業研究	2	
単位数合計	22		24		22		20		22		16		4		4	

合計単位数 134

履修モデル ビジネス（マーケティング）データサイエンティスト系

		1年次				2年次				3年次				4年次				
		1 セメスター		2 セメスター		3 セメスター		4 セメスター		5 セメスター		6 セメスター		7 セメスター		8 セメスター		
		科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位	
共通科目群	仏教学	仏教学ⅠA	2	仏教学ⅠB	2					仏教学ⅡA	2	仏教学ⅡB	2					
	言語コミュ科目	英語ⅠA1	1	英語ⅠB1	1													
		英語ⅠA2	1	英語ⅠB2	1													
		初修外国語ⅠA1	1	初修外国語ⅠB1	1													
		初修外国語ⅠA2	1	初修外国語ⅠB2	1													
情報基盤科目	情報リテラシー	2																
	データ・AIリテラシー	2																
健康科学科目	運動と健康科学	2																
教養、ジェンダー 連携活動 国際理解等						教養科目	2	連携活動	2	連携活動	2							
						教養科目	2											
専門科目群	社会 ソリューション系	価値創造への招待	2	経済学概論	2	計量経済学	2	人と組織のマネジメント	2	戦略的人的資源管理論	2	行動経済学	2					
				経営学概論	2	社会データ分析	2	DS実践概論	2	イノベーション論	2	データサイエンティストの キャリア論	2					
								DS社会実装論	2	マーケティング	2	マーケティングデータ分析	2					
										現代ビジネスと金融	2	コーポレート・ファイナンス	2					
情報系	プログラミングへの招待	2	プログラミングⅠ	2	プログラミングⅡ	2	AI・機械学習Ⅰ	2	AI・機械学習Ⅱ	2	Webプログラミング	2						
					プログラミングⅡ演習	2	AI・機械学習Ⅰ演習	2	AI・機械学習Ⅱ演習	2								
					データ処理演習	2			データベース	2								
数理・統計系	数学への招待	2	解析学Ⅰ	2	多変量解析Ⅰ	2	多変量解析Ⅱ	2	計算機統計学	2	空間統計学	2						
	確率・統計への招待	2	解析学Ⅰ演習	2			生存時間解析	2	最適化理論	2	心理分析	2						
			線形代数学	2														
			線形代数学演習	2														
		統計学入門	2															
演習	入門演習Ⅰ	2	入門演習Ⅱ	2	DS基礎演習Ⅰ	2	DS基礎演習Ⅱ	2	DS実践演習Ⅰ	2	DS実践演習Ⅱ	2	DS上級実践演習Ⅰ	2	DS上級実践演習Ⅱ	2		
												卒業研究	2	卒業研究	2			
単位数合計		22		24		18		18		24		18		4		4		
																合計単位数	132	

履修モデル 政策提言データサイエンティスト系

		1年次				2年次				3年次				4年次				
		1 Semester		2 Semester		3 Semester		4 Semester		5 Semester		6 Semester		7 Semester		8 Semester		
		科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位	
共通科目群	仏教学	仏教学ⅠA	2	仏教学ⅠB	2					仏教学ⅡA	2	仏教学ⅡB	2					
	言語コミュ科目	英語ⅠA1	1	英語ⅠB1	1													
		英語ⅠA2	1	英語ⅠB2	1													
		初修外国語ⅠA1	1	初修外国語ⅠB1	1													
		初修外国語ⅠA2	1	初修外国語ⅠB2	1													
	情報基盤科目	情報リテラシー	2															
		データ・AIリテラシー	2															
	健康科学科目	運動と健康科学	2															
	教養、ジェンダー 連携活動 国際理解等						教養科目	2	連携活動	2	連携活動	2						
							教養科目	2										
専門科目群	社会 ソリューション系	価値創造への招待	2	経済学概論	2	計量経済学	2	医療経済学	2	社会調査法	2	公共経営	2					
				経営学概論	2	リスクマネジメント	2	応用計量経済学	2	計量経済分析	2	行動経済学	2					
				社会学概論	2	社会データ分析	2	データからみる家族	2	イノベーション論	2	調査設計論	2					
						家族と社会	2	DS実践概論	2	教育・労働経済学	2							
						社会保障論	2	DS社会実装論	2	公的統計	2							
	情報系	プログラミングへの招待	2	プログラミングⅠ	2	プログラミングⅡ	2	AI・機械学習Ⅰ	2			情報倫理・情報社会	2					
				データ処理演習	2	プログラミングⅡ演習	2	AI・機械学習Ⅰ演習	2									
		数学への招待	2	解析学Ⅰ	2	多変量解析Ⅰ	2	回帰分析	2	最適化理論	2							
	数理・統計系	確率・統計への招待	2	解析学Ⅰ演習	2	解析学Ⅱ	2	多変量解析Ⅱ	2									
				統計学入門	2													
演習	入門演習Ⅰ	2	入門演習Ⅱ	2	DS基礎演習Ⅰ	2	DS基礎演習Ⅱ	2	DS実践演習Ⅰ	2	DS実践演習Ⅱ	2	DS上級実践演習Ⅰ	2	DS上級実践演習Ⅱ	2		
												卒業研究	2	卒業研究	2			
単位数合計		22		24		24		22		20		12		4		4		
																合計単位数	132	

履修モデル 数理データサイエンティスト系

		1年次				2年次				3年次				4年次				
		1 Semester		2 Semester		3 Semester		4 Semester		5 Semester		6 Semester		7 Semester		8 Semester		
		科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位	
共通科目群	仏教学	仏教学ⅠA	2	仏教学ⅠB	2					仏教学ⅡA	2	仏教学ⅡB	2					
	言語コミュ科目	英語ⅠA1	1	英語ⅠB1	1													
		英語ⅠA2	1	英語ⅠB2	1													
		初修外国語ⅠA1	1	初修外国語ⅠB1	1													
		初修外国語ⅠA2	1	初修外国語ⅠB2	1													
情報基盤科目	情報リテラシー	2																
	データ・AIリテラシー	2																
健康科学科目	運動と健康科学	2																
教養、ジェンダー 連携活動 国際理解等				教養科目	2	教養科目	2											
						教養科目	2											
						ジェンダー科目	2											
専門科目群	社会 ソリューション系	価値創造への招待	2	経済学概論	2	社会データ分析	2	応用計量経済学	2	公的統計	2	マーケティングデータ分析	2					
						計量経済学	2	DS実践概論	2	計量経済分析	2	行動経済学	2					
	情報系	プログラミングへの招待	2	プログラミングⅠ	2	プログラミングⅡ	2	AI・機械学習Ⅰ	2									
						プログラミングⅡ演習	2	AI・機械学習Ⅰ演習	2									
数理・統計系	数学への招待	2	解析学Ⅰ	2	多変量解析Ⅰ	2	生存時間解析	2	計算機統計学	2	空間統計学	2						
	確率・統計への招待	2	解析学Ⅰ演習	2	解析学Ⅱ	2	多変量解析Ⅱ	2	最適化理論	2	心理分析	2						
			線形代数学	2			実験計画法	2	医療統計	2	行列モデリング	2						
			線形代数学演習	2			文化計量学	2	時系列解析	2								
演習	入門演習Ⅰ	2	入門演習Ⅱ	2	DS基礎演習Ⅰ	2	DS基礎演習Ⅱ	2	DS実践演習Ⅰ	2	DS実践演習Ⅱ	2	DS上級実践演習Ⅰ	2	DS上級実践演習Ⅱ	2	2	
												卒業研究	2	卒業研究	2	2	2	
単位数合計		22		24		22		24		18		14		4		4		
																合計単位数	132	

履修モデル 医療データサイエンティスト系

		1年次				2年次				3年次				4年次				
		1 セメスター		2 セメスター		3 セメスター		4 セメスター		5 セメスター		6 セメスター		7 セメスター		8 セメスター		
		科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位	
共通科目群	仏教学	仏教学ⅠA	2	仏教学ⅠB	2					仏教学ⅡA	2	仏教学ⅡB	2					
	言語コミュ科目	英語ⅠA1	1	英語ⅠB1	1													
		英語ⅠA2	1	英語ⅠB2	1													
		初修外国語ⅠA1	1	初修外国語ⅠB1	1													
初修外国語ⅠA2		1	初修外国語ⅠB2	1														
情報基盤科目	情報リテラシー	2																
	データ・AIリテラシー	2																
健康科学科目	運動と健康科学	2																
教養、ジェンダー 連携活動 国際理解等				教養科目	2	教養科目	2											
						教養科目	2											
						ジェンダー科目	2											
専門科目群	社会 ソリューション系	価値創造への招待	2	経済学概論	2	社会データ分析	2	医療経済学	2	公的統計	2	公共経営	2					
						リスクマネジメント	2			イノベーション論	2							
						社会保障論	2											
	情報系	プログラミングへの招待	2	プログラミングⅠ	2	プログラミングⅡ	2	AI・機械学習Ⅰ	2	AI・機械学習Ⅱ	2	画像処理	2					
					プログラミングⅡ演習	2	AI・機械学習Ⅰ演習	2	AI・機械学習Ⅱ演習	2	情報倫理・情報社会	2						
									マルチメディア処理	2								
数理・統計系	数学への招待	2	解析学Ⅰ	2	多変量解析Ⅰ	2	生存時間解析	2	計算機統計学	2	調査設計論	2						
	確率・統計への招待	2	解析学Ⅰ演習	2	解析学Ⅱ	2	多変量解析Ⅱ	2	最適化理論	2	行列モデリング	2						
			線形代数学	2			実験計画法	2	医療統計	2								
			線形代数学演習	2			回帰分析	2	時系列解析	2								
演習	入門演習Ⅰ	2	入門演習Ⅱ	2	DS基礎演習Ⅰ	2	DS基礎演習Ⅱ	2	DS実践演習Ⅰ	2	DS実践演習Ⅱ	2	DS上級実践演習Ⅰ	2	DS上級実践演習Ⅱ	2		
													卒業研究	2	卒業研究	2		
単位数合計		22		24		22		18		24		14		4		4		
															合計単位数		132	

履修モデル データエンジニア、AIデータサイエンティスト系

	1年次				2年次				3年次				4年次			
	1 セメスター		2 セメスター		3 セメスター		4 セメスター		5 セメスター		6 セメスター		7 セメスター		8 セメスター	
	科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位
仏教学	仏教学ⅠA	2	仏教学ⅠB	2					仏教学ⅡA	2	仏教学ⅡB	2				
共通科目群	言語コミュ科目	英語ⅠA1	1	英語ⅠB1	1											
		英語ⅠA2	1	英語ⅠB2	1											
		初修外国語ⅠA1	1	初修外国語ⅠB1	1											
		初修外国語ⅠA2	1	初修外国語ⅠB2	1											
情報基盤科目	情報リテラシー	2														
	データ・AIリテラシー	2														
健康科学科目	運動と健康科学	2														
教養、ジェンダー 連携活動 国際理解等			教養科目	2	教養科目	2										
					教養科目	2										
					ジェンダー科目	2										
社会 ソリューション系	価値創造への招待	2	経済学概論	2	社会データ分析	2	応用計量経済学	2	マーケティング	2	マーケティングデータ分析	2				
					計量経済学	2	DS実践概論	2								
							DS社会実装論	2								
情報系	プログラミングへの招待	2	プログラミングⅠ	2	プログラミングⅡ	2	AI・機械学習Ⅰ	2	AI・機械学習Ⅱ	2	数値解析	2				
					プログラミングⅡ演習	2	AI・機械学習Ⅰ演習	2	AI・機械学習Ⅱ演習	2	ソフトウェア設計	2				
					データ構造とアルゴリズム	2	シミュレーション	2	データベース	2	Webプログラミング	2				
					データ処理演習	2			情報ネットワーク	2	情報倫理・情報社会	2				
									バイオインフォマティクス	2	画像処理	2				
数理・統計系	数学への招待	2	解析学Ⅰ	2	多変量解析Ⅰ	2	回帰分析	2								
	確率・統計への招待	2	解析学Ⅰ演習	2			文化計量学	2								
			線形代数学	2												
			線形代数学演習	2												
演習	入門演習Ⅰ	2	入門演習Ⅱ	2	DS基礎演習Ⅰ	2	DS基礎演習Ⅱ	2	DS実践演習Ⅰ	2	DS実践演習Ⅱ	2	DS上級実践演習Ⅰ	2	DS上級実践演習Ⅱ	2
												卒業研究	2	卒業研究	2	
単位数合計	22		24		22		18		18		20		4		4	

合計単位数 132

履修モデル 情報学・統計学に精通した教員養成

	1年次				2年次				3年次				4年次				
	1セメスター		2セメスター		3セメスター		4セメスター		5セメスター		6セメスター		7セメスター		8セメスター		
	科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位	
仏教学	仏教学ⅠA	2	仏教学ⅠB	2					仏教学ⅡA	2	仏教学ⅡB	2					
共通科目群	言語コミュ科目	英語ⅠA1 英語ⅠA2 初修外国語ⅠA1 初修外国語ⅠA2	1 1 1 1	英語ⅠB1 英語ⅠB2 初修外国語ⅠB1 初修外国語ⅠB2	1 1 1 1												
	情報基盤科目	情報リテラシー データ・AIリテラシー	2 2														
	健康科学科目	運動と健康科学 スポーツ実践	2 1														
	教養、ジェンダー 連携活動 国際理解等			教養科目 教養科目 ジェンダー科目	2 2 2	教養科目 教養科目 ジェンダー科目	2 2 2										
専門科目群	社会ソリューション系	価値創造への招待	2	社会学概論	2		データから見る家族 DS社会実装論	2 2	教育・労働経済学	2							
	情報系	プログラミングへの招待	2	プログラミングⅠ	2	プログラミングⅡ プログラミングⅡ演習	2 2	AI・機械学習Ⅰ AI・機械学習Ⅰ演習	2 2	AI・機械学習Ⅱ AI・機械学習Ⅱ演習 データベース 情報ネットワーク マルチメディア処理	2 2 2 2 2	数値解析 ソフトウェア設計 Webプログラミング 情報倫理・情報社会 画像処理	2 2 2 2 2				
	数理・統計系	数学への招待 確率・統計への招待	2 2	解析学Ⅰ 解析学Ⅰ演習 線形代数学 線形代数学演習 統計学入門	2 2 2 2 2	多変量解析Ⅰ 多変量解析Ⅱ 代数学 幾何学	2 2 2 2	回帰分析 多変量解析Ⅱ	2 2	時系列解析	2						
	教職関連科目					数学科教育法1 情報科教育法1	2 2	数学科教育法2 情報科教育法2	2 2	数学科教育法3	2	数学科教育法4	2				
	演習	入門演習Ⅰ	2	入門演習Ⅱ	2	DS基礎演習Ⅰ	2	DS基礎演習Ⅱ	2	DS実践演習Ⅰ	2	DS実践演習Ⅱ	2	DS上級実践演習Ⅰ 卒業研究	2 2	DS上級実践演習Ⅱ 卒業研究	2 2
	教職に関する専門教育科目	教職論 教育原論	2 2	教育心理学	2	日本国憲法 道德教育論	2 2	教育課程論 特別支援教育論 教育方法論 人権教育論	2 1 2 1	特別活動及び総合的な学習の時間指導法 生徒指導論 進路指導論	2 2 2	教育行政学	2	教育実習論 教育実習 中学校教育実習	1 2 2	教職実践演習(中・高)	2
単位数合計		27		26		28		24		26		18		4		11	
																合計単位数	164
単位数合計(教職に関する専門教育科目除く)		23		24		24		18		20		16		4		4	
																合計単位数(教職に関する専門教育科目除く)	133

添付資料④【資料2】養成する人材像、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシーの相関表(主な関連部分をマーカーで示す)

養成する人材像
 社会の諸課題を発見する感性、とりわけ経済社会についての基礎的専門知識と基本理論、科学的に洞察するためのデータ収集・処理・分析能力を身につけ、社会の価値創造に向けた実践力を持ったデータサイエンス人材

ディプロマ・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
(1)[知識・理解] 社会の課題を洞察し、データを活用した課題解決・価値創造に取り組むにあたっての基盤となる、統計学、情報学、経済学・経営学等のデータサイエンスに関する専門的知識を有している。	(1)[知識・理解] 1～2年次前期までは、社会の課題を洞察し、データを活用した課題解決・価値創造に取り組むにあたっての基盤となる、統計学、情報学、経済学・経営学等のデータサイエンスに関する専門的知識を身に付けるため、「専門基礎科目」として各領域の基礎的な科目を設定し、各領域を広く学ぶ。2年次後期以降は、より高度なデータ処理・分析に必要な知識・技能を身につける科目や、多様な分野におけるデータサイエンスの活用に関する知見を身につける科目等、専門性を深めた「専門発展科目」として配置し、学生が自身の関心や将来像に応じて、履修モデルやカリキュラム・ツリーを参考としながら、体系的に専門性を積み上げる教育課程とする。	(1)専門教育と関連した基礎的な教科(特に数学)の学びを身につけている。
(2)[汎用的技能] ① 課題に関連するデータを効果的に選定・収集・処理できる。 ② データが得られた分野を十分理解した上で、データサイエンスのスキルを駆使してデータを適切に処理・分析できる。 ③ データ分析から得られた結果の意味を適正に解釈し、課題解決・価値創造に向けた方策を考案できる。	(2)[汎用的技能] ① 課題に関連するデータを効果的に選定・収集・処理できる高度な力を身に付けるため、情報系科目(情報学)を体系的に配置する。 ② データが得られた分野を十分理解した上で、データサイエンスのスキルを駆使してデータを適切に処理・分析できる高度な力を身に付けるため、数理・統計系科目(統計学)を体系的に配置する。 ③ データ分析から得られた結果の意味を適正に解釈し、課題解決・価値創造に向け提案できる力を身に付けるため、社会ソリューション科目(経済学・経営学等)を体系的に配置する。	(2)得られた知識や情報を基にして、論理的・多角的に考え、その結果を活用していくことに関心がある。
(3)[思考・判断] 様々な事象から取り組むべき課題を論理的思考力と多角的な視野によってとらえ、データに基づいて検証・判断できる。	(3)[思考・判断] 1年次から4年次まで開講するPBL(Problem Based Learning)型の演習科目で、学んだ理論に基づき実践するデータ分析の意味理解を通して、様々な事象から取り組むべき課題を論理的思考力と多角的な視野によってとらえ、データに基づいて検証・判断する能力を養う。	(3)他者と十分なコミュニケーションを図り、互いに協力しながら課題に取り組んでいく姿勢がある。
(4)[対話・相互理解] 他者を尊重しながら、論理的なコミュニケーションによって相互理解・調整に努め、様々な人々と協働できる。	(4)[対話・相互理解] 1年次から4年次まで開講するPBL(Problem Based Learning)型の演習科目で、提示された事例を基に、主体的にデータ選定・収集・分析・検討するグループワークを通して、他者を尊重しながら、論理的なコミュニケーションによって相互理解・調整に努め、様々な人々と協働できる力を身につける。	(4)データと社会とのつながりに対する関心を持っており、主体的に大学での学びに取り組み、そこで修得した能力を社会で活かしたいという意欲がある。
(5)[社会性・自律性] 社会の一員としての自覚とデータサイエンティストとして必要な倫理観を備え、自己の良心と社会の規範に従って行動できる。	(5)[社会性・自律性] ①建学科目群の「仏教学」や共通科目群に配置された「ジェンダー科目」「教養科目」等を通して、仏教精神に根差す高い倫理観と市民に必要とされる幅広い教養、より良き市民としての社会的責任感を醸成する。 ②専門科目群の履修を通してデータサイエンティストとして必要な倫理観を学ぶと共に、演習科目や卒業研究における双方向のきめ細かい指導を通して社会の規範に従って行動する態度を培う。	(5)自ら主体的に学び、各分野で創造的役割を果たす人間へと成長していかうとする意志を持っている。
(6)[自立性] 自ら目標を設定し、目標に向かって主体的に取り組むことができる。	(6)[自立性] 卒業研究を必修とし、それまでに積み重ねた学びの集大成として、自ら設定した研究目標に主体的に取り組み、指導教員のきめ細かな指導によって、学生が課題解決・価値創造に向けた方策を主体的に考案し、プレゼンテーションする力を養成する。	(7)[評価方法] 学修成果は、各授業科目の到達目標の達成度について、成績評価基準(試験、レポート、平常点)を用いて評価する。さらに、成績分析や卒業論文・研究、授業アンケート、ジェネリックスキル測定テスト等の結果を用いて、教育課程全体の評価検証を行う。

別記様式第2号(その3の1)

(用紙 日本産業規格A4縦型)

授 業 科 目 の 概 要			
(データサイエンス学部データサイエンス学科)			
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
目	数学科教育法2	中学校数学科の数と式、図形、関数、データの活用4つの領域での指導の要点と事例や関係する数学的背景などの各領域における教材開発において重要な点を解説する。また、各領域での教材開発の際に何が本質的であるかを理解する。さらに、各領域における数学的な見方・考え方や数学科の学習指導要領のねらいに沿った形で各単元の構成方法・教材開発の方法や数学的視点からの授業評価について学ぶ。	
	数学科教育法3	中学校・高等学校数学科の目的と目標および各領域の指導の意義を理解した上で、生徒の実態に合わせた教材開発や授業設計を行い、中学校・高等学校数学科の指導の基本的な考え方と指導上の注意点などを、具体例を通して理解する。また、中学校・高等学校数学科の特性に応じたICTの活用法なども含めて理解するとともに、模擬授業を計画・実施し、教材開発やICTの指導上の注意点などについて模擬授業を通して分析し、授業改善に役立てる。	
	数学科教育法4	中学校数学科の授業の計画、実践、ふりかえりの過程を体験し、数学の教師としての資質や能力を養い、教育実習や将来の教職活動へ円滑に進めるようにする。講義では、授業づくりのための基本的な考え方と方法の説明の後、授業構成方法、生徒の困難点などの授業作りのポイントを解説する。その後、グループ毎に一つの内容を取り上げ、指導計画を作成し、マイクロティーチングを実施する。最後に、実践を振り返って、授業作りのポイントをふりかえり、教材研究と授業実践力に関する基礎的な能力と態度を身につける。	
	情報科教育法1	この講義では高等学校の共通教科及び専門教科「情報」における教育目標や指導内容を十分に考察していく。さらに、「この教科を生徒たちに教えることが意味すること」、また、「生徒たちに理解してほしいこと」について深く考え、将来授業の「計画・設計・実施・反省」が可能な教員の育成を目指し、情報教育を理解・修得していくことを目標とする。授業の進め方については「教員から行う講義のスタイル」と「学生参加型の演習スタイル」の2通りを交えながら進める。情報科教育法1では、教科「情報」で教えていく内容をしっかり理解してもらうために、講義スタイルの授業を中心とするが、できる限り学生に直接参加してもらう時間を多く設定し、自分たちで考える時間を確保する。	
	情報科教育法2	この講義では高等学校の共通教科及び専門教科「情報」における教育目標や指導内容を十分に考察していく。前期の「情報科教育法1」での学習内容を踏まえ、実践的な活動を中心に行う。情報教育そのものを理解しつつ、教員として現場の教壇に立つために必要な能力を実践を通してしっかり身につけ、自らの授業を運営できる人材の育成を目標とする。授業の進め方については「教員から行う講義のスタイル」と「学生参加型の演習スタイル」の2通りを交えながら進める。情報科教育法2では、前期開講の情報科教育法1の内容を踏まえて、実践的な能力を身につけていくことを目標とする。したがって、講義スタイルよりも学生参加型の時間を多く設定し、学生が自分で考える時間を確保する。	
演習科目	入門演習Ⅰ	冊子『アカデミックスキル』を用いて①研究倫理(データ管理、守秘義務、著作権保護、不正行為(ねつ造、改竄、盗用)の禁止など)、②情報収集の方法(文献や資料の検索と収集、図書館やデータベースの利用、実地調査など)、③レポートまたはプレゼンテーションの方法(レポートの書き方、プレゼンテーション資料作成の方法など)について、ポイントを説明したうえで、各受講生に具体的な作業を行ってもらうことにより大学で必要とされるアカデミックスキルを習得する。	
	入門演習Ⅱ	大学での学修で必要とされる資料の調べ方と整理の方法、発表のためのレジュメの作成、討論の方法などについて、各自が種々の資料を基に報告し、ゼミ内で議論を行うことによりこれらの技能を習得する。また社会課題の発見にはクリティカル・シンキングを身に付けることが求められる。本演習では、文献の批判的な読み方、問題意識の絞り方を解説する。学生は各自で文献内容の報告・発表のためのレジュメを作成し、発表する。発表された内容について、グループで議論し、結果を報告する。なお、発表のための文献を探索する方法については授業内で説明する。	
	データサイエンス基礎演習Ⅰ	データサイエンス基礎演習Ⅰでは、データサイエンス学部における3領域(社会ソリューション、統計学、情報学)で実施している研究についての理解を深め、データサイエンスが社会実装されているかを学ぶ。演習では、ゲストスピーカーを招聘し社会実装の現場について具体的に現状を学ぶことにより、データサイエンス学部における学習のモチベーションを高める。受講生は各自の問題意識に基づいてテーマを選び、先行研究のレビューを行う。具体的には、各自のテーマに関する先行研究を収集し、その概要をまとめたレジュメを作成し発表を行う。その内容に対して、受講生全員でディスカッションを行い、何回かの発表を通して具体的な研究計画を立てるための準備を行う。	
	データサイエンス基礎演習Ⅱ	データサイエンス基礎演習Ⅱでは、今後取り組む研究領域やテーマを絞りこみ、具体的な研究計画を立てる。演習では、各自が選んだテーマに関する先行研究をレビューし、理論的な枠組みを形成するとともに、研究手法についての理解を深め、研究計画を立てる。具体的には、各自のテーマに関する先行研究を収集し、その概要をまとめる。先行研究を踏まえて、自分の問題意識を明確にし、研究計画の立案にむけて仮説や研究方法などについて発表を行う。その内容に対して、受講生全員でディスカッションを行い、このプロセスを重ねた上で、研究計画書をまとめ発表する。	
	データサイエンス実践演習Ⅰ	これまでに学修したデータサイエンスに関する知識と具体的な活用領域(統計学、情報学、社会ソリューション)への繋がり理解を深めるため、各分野の教員に配属し、より実践的な演習をゼミ形式で行う。各分野の専門家の指導の下で、より高度な能力を身につけ、自ら直面する課題を解決することができるようになり、それらを表現する能力も養う。また、データサイエンス基礎演習Ⅰから取り組んだ各自の課題を解決するための方策について検討する。	
	データサイエンス実践演習Ⅱ	データサイエンス実践演習Ⅰに引き続き、これまでに学修したデータサイエンスに関する知識と具体的な活用領域(統計学、情報学、社会ソリューション)との繋がりに関する理解を深めるため、各分野の教員に配属し、より実践的な演習をゼミ形式で行う。各分野の専門家の指導の下で、より高度な能力を身につけ、自ら直面する課題を解決することができるようになり、それらを表現する能力も養う。また、データサイエンス基礎演習Ⅰから取り組んだ各自の課題を解決するための問題点などを理解する。	
	データサイエンス上級実践演習Ⅰ	データサイエンス実践演習Ⅰ、データサイエンス実践演習Ⅱに引き続き、これまでに学修したデータサイエンスに関する知識を具体的な活用領域(統計学、情報学、社会ソリューション)との繋がりに関する理解を深めるため、各分野の教員に配属し、より実践的な演習をゼミ形式で行う。各分野の専門家の指導の下で、より高度な能力を身につけ、自ら直面する課題を解決することができるようになり、それらを表現する能力も養う。また、データサイエンス基礎演習Ⅰから取り組んだ各自の課題を精査し、先行研究の調査、問題点などの改善、新たな調査や分析を行う。	

文部科学省申請用シラバス様式

授業科目名	疫学統計と生活	担当教員	中村 智洋
副題	横断研究、症例対照研究、コホート研究、 ゲノムコホート	開講時期	2 後
関連科目	多変量解析 I、多変量解析 II、 生存時間解析	曜日・講時	
授業形態	対面	単位数	2
授業の概要・テーマ			
<p>データサイエンスとの関わりにおいて、疫学の理念と目的、健康問題に関する予防医学の役割と実際について学ぶ。疫学の歴史を振り返りながら、疾病予防、健康管理などの諸問題から環境と生活の健康を考え、要因と疾患発症の関連性を調べるための様々な疫学方法を学ぶことを目的とする。その中でも、次世代型医療実現に向け、大規模コホート研究にゲノム情報を取り入れた大規模ゲノムコホート研究に着目する。ゲノムコホート研究における統計手法を学び、解析結果を考察する。またサンプルデータを用い、統計解析ソフトとして R または EZR を活用する。</p>			
授業の到達目標			
<p>様々な疫学方法論を学び、疫学を考慮したデータの統計解析を実行することができ、かつ、その統計解析結果の解釈ができることを目標とする</p>			
学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）との関連			
【知識・理解】、【汎用定期能力】、【思考・判断】			
授業計画			
<p>第1回: 疫学：疫学について説明する 第2回: ゲノム解析：ゲノムおよびゲノム情報を用いた解析について説明する 第3回: 疫学方法論（1）：疫学の指標、人年法について説明する 第4回: 疫学方法論（2）：観察研究について説明する 第5回: 疫学方法論（3）：介入研究について説明する 第6回: 横断研究・症例対照研究（1）：横断研究・症例対照研究で用いられる回帰分析について説明する 第7回: 横断研究・症例対照研究（2）：R または EZR を用いた疫学データの回帰分析について説明する 第8回: 横断研究・症例対照研究（3）：回帰分析による解析結果の解釈の仕方について説明する 第9回: コホート研究（1）：コホート研究で用いられる比例ハザードモデルを使用した cox 回帰について説明する 第10回: コホート研究（2）：R または EZR を用いた疫学データの cox 回帰について説明する 第11回: コホート研究（3）：cox 回帰による解析結果の解釈の仕方について説明する 第12回: GWAS 解析：GWAS 解析について説明する 第13回: ゲノム研究の倫理：個人情報保護法、偶発所見、インフォームド・コンセントについて説明する 第14回: ゲノムコホートとリスク予測：ゲノム情報を用いた解析について説明する 第15回: ゲノム疫学まとめ</p>			
授業の方法、課題に対するフィードバック			

毎回の講義の内容確認のため、講義の最後に小テストを実施する。採点した小テストを次回の講義の最初に返却・解説することで復習も兼ね、理解を深めていく方法をとる。
成績評価の方法
定期試験 (80%) 授業で実施する小テスト (20%)
授業時間外の事前・事後学習
小テストでの内容は復習をしておくこと (各 30 分程度)
教科書
【購入不要】教科書なし
参考書
シンプル衛生公衆衛生学 2021 辻一郎・小山洋 南江堂 2021 年 はじめて学ぶ やさしい疫学 監修 日本疫学会 南江堂 2018 年
アクティブ・ラーニング区分
①振り返り
当該科目に関連した実務経験の有無
無

文部科学省申請用シラバス様式

授業科目名	入門演習Ⅰ	担当教員	阿部貴行、鈴木富美子 寺本敬、安川文朗 林邦好、石川由羽 土田潤、道越秀吾
副題	アカデミックリテラシー入門	開講時期	1回生 前期
関連科目		曜日・講時	
授業形態	対面	単位数	2
授業の概要・テーマ			
冊子『アカデミックスキル』を用いて①研究倫理（データ管理、守秘義務、著作権保護、不正行為（ねつ造、改竄、盗用）の禁止など）、②情報収集の方法（文献や資料の検索と収集、図書館やデータベースの利用、実地調査など）、③授業内容のまとめ方、④簡潔な文章の書き方やレポート作成の基本的なノウハウについて、ポイントを説明したうえで、各受講生に具体的作業を行ってもらうことにより大学で必要とされるアカデミックスキルを習得する。			
授業の到達目標			
大学で学ぶために必要な姿勢（心構え）と文章を読み解く力や思考力、発想力、そして基礎的なアカデミック・ライティング力などのスキルを習得することを目標とする。			
学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）との関連			
【知識・理解】、【汎用的技能】、【社会性・自律性】			
授業計画			
第1回: オリエンテーション 第2回: 大学での学び 第3回: 大学での学習計画と履修方法 第4回: 大学での受講について 第5回: 研究倫理について 第6回: 図書館の利用について 第7回: インターネットによる文献検索について 第8回: 図書や新聞による除法収集について 第9回: レポートの書き方について 第10回: レポート・テーマについて 第11回: テーマに関するディスカッション 第12回: レポート作成 第13回: レポート添削 第14回: キャリアについて 第15回: 総括			
授業の方法、課題に対するフィードバック			

各テーマに関して講義の中で口頭による解説・講評を行います。
成績評価の方法
レポート（40%）、毎回の授業後のコメントペーパー（30%）、討論への参加（30%）
授業時間外の事前・事後学習
各回に講義に関する小テストレポート課題を行うので復習をしておくこと。（各2時間）
教科書
『アカデミックスキル』
参考書
講義中に適宜指示する。
アクティブ・ラーニング区分
レポート課題、ディスカッションによる振り返りを行う。 PBL（課題解決型学習）
当該科目に関連した実務経験の有無
無

文部科学省申請用シラバス様式

授業科目名	入門演習Ⅱ	担当教員	阿部貴行、鈴木富美子 寺本敬、安川文朗 林邦好、石川由羽 土田潤、道越秀吾
副題	クリティカル・シンキングとプレゼンテーション	開講時期	1回生 後期
関連科目	入門演習Ⅰ	曜日・講時	
授業形態	対面	単位数	2
授業の概要・テーマ			
<p>大学での学修で必要とされる資料の調べ方と整理の方法、発表のためのレジユメの作成、討論の方法などについて、各自が種々の資料を基に報告し、ゼミ内で議論を行うことによりこれらの技能を習得する。また社会課題の発見にはクリティカル・シンキングを身に付けることが求められる。本演習では、文献の批判的な読み方、問題意識の絞り方を解説する。学生は各自で文献内容の報告・発表のためのレジユメを作成し、発表する。発表された内容について、グループで議論し、結果を報告する。なお、発表のための文献を探索する方法については授業内で説明する。</p>			
授業の到達目標			
<ul style="list-style-type: none"> ・効率的に情報を収集し、整理ができる。 ・文献を正確に理解し、自身の考えを論理的にまとめることができる。 ・プレゼンテーション資料を作成できる。 ・資料に基づいて発表できる。 ・他者の発表を的確に理解し、コメントを述べることができる。 			
学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）との関連			
【知識・理解】、【汎用的技能】、【対話・相互理解】			
授業計画			
<p>第1回: オリエンテーション：演習の進め方、注意事項、 第2回: 各種資料のリファレンスの仕方 第3回: 資料の整理方法 第4回: 問題意識の絞り方 第5回: 文献検索の方法 第6回: 文献を読んでみよう1：文献を正しく理解する方法 第7回: 文献を読んでみよう2：文献のまとめ方 第8回: 文献を読んでみよう3：文献の批判的な読み方1 第9回: 文献を読んでみよう4：文献の批判的な読み方2 第10回: プレゼンテーション1：資料の作成（パワーポイント） 第11回: プレゼンテーション2：資料の作成2（レジユメの作成） 第12回: プレゼンテーション3：資料の作成3（図表の作成） 第13回: プレゼンテーション4：発表と討論 第14回: プレゼンテーション5：発表と討論 第15回: 総括</p>			

授業の方法、課題に対するフィードバック
毎回の授業後に習熟度を測る課題を出し、それに対する講評を次回の授業で行います。
成績評価の方法
毎回の課題とレポート（50%）、プレゼンテーション（30%）、討論への参加（20%）
授業時間外の事前・事後学習
毎回の演習で出題する課題をレポートとして完成させること。（各2時間）
教科書
適宜資料を配布する。
参考書
適宜指示する。
アクティブ・ラーニング区分
レポート課題、ディスカッションによる振り返り、プレゼンテーション
当該科目に関連した実務経験の有無
無

文部科学省申請用シラバス様式

授業科目名	データサイエンス実践演習 I	担当教員	栗原考次、足立浩平 阿部貴行、鈴木富美子 張星源、寺本敬 中田喜文、中村智洋 安川文朗、山田隆行 市瀬夏洋、林邦好 丸野由希、石川由羽 土田潤、道越秀吾
副題	データサイエンスにおける価値創造の実践	開講時期	3回生 前期
関連科目	データサイエンス基礎演習 I、II	曜日・講時	
授業形態	対面	単位数	2
授業の概要・テーマ			
<p>これまでに学修したデータサイエンスに関する知識と具体的な活用領域（統計学、情報学、社会ソリューション）への繋がり理解を深めるため、各分野の教員に配属し、より実践的な演習をゼミ形式で行う。各分野の専門家の指導の下で、より高度な能力を身につけ、自ら直面する課題を解決することができるようになり、それらを表現する能力も養う。また、データサイエンス基礎演習 I から取り組んだ各自の課題を解決するための方策について検討する。</p>			
授業の到達目標			
データサイエンスにおける様々な領域の研究について理解を深め、卒業研究で取り組む研究領域の方向性を定める。			
学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）との関連			
【知識・理解】、【汎用的技能】、【思考・判断】			
授業計画			
<p>第1回: オリエンテーション 第2回: 社会ソリューション系：社会ソリューション系の研究紹介 第3回: データエンジニアリング系：情報学系の研究紹介 第4回: データアナリティクス系：統計学系の研究紹介 第5回: 研究室の決定とオリエンテーション 第6回: 研究課題の例示と解説 第7回: 研究課題をめぐる討論・グループ分け 第8回: グループ内での課題をめぐる討論の深化 第9回: グループごとでの課題研究計画の討論 第10回: グループごとでの課題に関する資料収集 第11回: グループごとでの課題に関する合評会 第12回: 課題についてのデータ収集 第13回: 課題についてのデータ分析 第14回: 課題についての議論およびまとめ 第15回: 全グループの成果報告（プレゼンテーション）</p>			

授業の方法、課題に対するフィードバック
演習の時間に全般的な解説を行うとともに、必要に応じてフィードバックを行う。
成績評価の方法
レポート（50%）、プレゼンテーション（30%）、討論への参加（20%）
授業時間外の事前・事後学習
毎回の演習で出題する課題を完成させること。（各2時間）
教科書
適宜資料を配布する。
参考書
なし
アクティブ・ラーニング区分
レポート課題、ディスカッションによる振り返りを行う。
当該科目に関連した実務経験の有無
無

文部科学省申請用シラバス様式

授業科目名	データ・AI 基礎 D	担当教員	市瀬夏洋
副題	AI・機械学習の基礎知識	開講時期	2 回生 後期
関連科目	データ・AI 基礎 A、B、C	曜日・講時	
授業形態	対面	単位数	2
授業の概要・テーマ			
<p>データ・AI 基礎の最終段階として、データサイエンス・AI を活用した課題解決プロセス、AI 技術について体験する。データ・AI における課題解決には問題の理解や仮説立案などの「企画」、データの収集・加工・分析を行う「実施」、分析結果を議論する「評価」のプロセスを経る必要がある。具体的な課題によってそれぞれの課題解決プロセスを概観し、データ利活用の流れを理解する。言語や知識などに関する AI 技術を体験することにより、実社会での活用が進む機械学習や深層学習によって何が可能となるかなどの基本的な概念を理解する。</p>			
授業の到達目標			
<p>AI、機械学習、ニューラルネットワークの基礎的な意味を学習し、AI を課題解決に適用する能力を修得すると共に、AI が現代社会でどのように活用されているかを理解する。</p>			
学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）との関連			
<p>この授業では、AI、機械学習、ニューラルネットワークの基礎的知識を学び、AI が現代社会でどのように活用されているかを理解できる能力を身に付ける。従って、本授業は学位授与の方針における【知識・理解】に関連する。</p>			
授業計画			
<p>第1回: AI(人工知能)とは何か 第2回: AI と機械学習（歴史の変遷） 第3回: AI と脳 第4回: ニューラルネットワーク(神経回路網) 第5回: ニューラルネットワーク小史 第6回: ニューラルネットワークによる機械学習 第7回: 深層学習（ディープラーニング） 第8回: 様々な機械学習 第9回: AI による課題解決プロセス 第10回: AI と予測 第11回: 分析結果の評価とは 第12回: AI 体験（自然言語） 第13回: AI 体験（画像認識） 第14回: AI 体験（画像生成） 第15回: まとめとフィードバック</p> <p>定期試験を実施する</p>			
授業の方法、課題に対するフィードバック			

小レポートについて解説・講評を行う。
成績評価の方法
定期試験(40%)、授業の最後に出題される小レポート(60%)
授業時間外の事前・事後学習
事後学習として、自身の周辺環境に存在する AI 技術について、授業で示された知識を元に考察することが望ましい。
教科書
特に指定しない。
参考書
人工知能学会 監修、松尾豊 編 「人工知能とは」近代科学社 甘利俊一 著 「脳・心・人工知能」ブルーバックス
アクティブ・ラーニング区分
振り返り、小レポートについて解説する。
当該科目に関連した実務経験の有無
無

文部科学省申請用シラバス様式

授業科目名	教養科目 A (数と情報 1)	担当教員	市瀬夏洋
副題	微分積分の基礎	開講時期	1 後
関連科目		曜日・講時	
授業形態	対面	単位数	2
授業の概要・テーマ			
<p>データを論理的かつ客観的に分析するための基礎知識として、データの変動や累積量を数学的に関数として表現し、現象を説明することが可能な微分や積分とその応用について学ぶ。具体的には、極限、級数、微分、積分の考え方を理解し、それらの三角関数、指数関数、対数関数など各種の関数への応用に関する知識及びそれらの計算技能を身につける。さらに、現実社会における適用について考察し、課題の発見・解決を行う。</p>			
授業の到達目標			
微分積分の基本的な意味を理解し、様々な分野で現れる微分積分による記述を解読できる能力を身に付ける。			
学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）との関連			
この授業では、微分積分に関する基本的かつ技術的知識を学び、様々な分野に存在する微分積分による記述を理解できる能力を身に付ける。従って、本授業は学位授与の方針における【知識・理解】に関連する。			
授業計画			
第1回: 微分と速度、積分と距離 第2回: 関数とグラフ 第3回: 傾きと極限 第4回: 初等関数の微分 第5回: 微分のテクニック（関数の和・積の微分、合成関数の微分） 第6回: グラフの凹凸（高階微分） 第7回: 関数の展開（テイラーの定理） 第8回: 等高線と勾配（偏微分） 第9回: 微分による挙動の記述（微分方程式） 第10回: 微分方程式の様々な具体例 第11回: 微分・不定積分・定積分の関係（微分積分の基本定理） 第12回: 面積と積分 第13回: 体積と積分（重積分） 第14回: 積分のテクニック（部分積分、ガウス積分） 第15回: まとめとフィードバック 定期試験を実施する			
授業の方法、課題に対するフィードバック			
小レポートについて解説・講評を行う。			

成績評価の方法
定期試験(40%)、授業の最後に出題される小レポート(60%)
授業時間外の事前・事後学習
事後学習として、小レポートと共に授業で提示した内容について問題を設定し解いてみることを望ましい。
教科書
特に指定しない。
参考書
磯島、桂、間下、安田 著「コア講義 微分積分」 裳華房
アクティブ・ラーニング区分
振り返り、小レポートについて解説する。
当該科目に関連した実務経験の有無
無

職員定年規程（就業規則第41条関係）

制 定 平成9年8月1日

最近改正 平成19年4月1日

第1条 この規程は、学校法人京都女子学園就業規則第41条に基づき、本学園専任職員の定年について定める。

第2条 教育職員の定年は60歳とする。ただし、教授（契約）、研究所教授（契約）及び図書館司書課程教授（契約）については73歳、教授、准教授、研究所教授、研究所准教授、相談室教授、相談室准教授、図書館司書課程教授、図書館司書課程准教授及び高等学校・中学校専任講師については65歳とする。

2 管理職員、事務職員、医療職員、技術職員、技能職員及び用務職員の定年は60歳とする。

第3条 前条の規定にかかわらず、学校法人京都女子学園就業規則第4条に定める人事権者が、特に必要と認めた者については、3年以内で定年を延長することができる。ただし、教授及び研究所教授については、さらに必要と認めた場合2年を限り延長することができる。

2 前項の規定により定年を延長した者の俸給は、当該職種等級の最終号俸を支給する。

第4条 職員は、定年に達した日の属する年度の末日に退職となる。

附 則

1 この規則は、平成9年8月1日から施行する。

2 「定年（昭和35年4月1日制定）」を、廃止する。

附 則（平成10年8月1日就業規則の一部を改正する規則）

この規則は、公示の日から施行する。ただし、改正後の規定は、平成11年4月1日から適用する。

附 則（平成19年4月1日就業規則の一部を改正する規則）

1 この規則は、平成19年4月1日から施行する。